

加布里っ子だより

文責 校長 伊藤 由美子

かんがえる かしこい子ども
ふれあい つながる子ども
りっぱに やりとげる子ども

◇7月19日から、39日間の夏休みです!◇

前期(4/7~10/8)の103日のうち、約7割が終了しました。4月は、始業式・入学式・春の遠足・学習参観、5月は、スポーツテスト・加布里んピック・芋の苗植え、6月は交通教室・田植え、7月は、学習参観・歴史探訪・プールでの学習・前期前半終了(7/18)と今年度も様々な学習活動を行うことができました。子どもたちは、日々の授業や学校行事を通して、成長し、人との関わり方を学んでいます。保護者の皆様も、御家庭での声かけや学習用具の準備等様々な面からの御支援、ありがとうございました。この場をお借りして御礼申し上げます。

SNSの利用の仕方について

ゲームに夢中、子どもたち同士でのラインのやりとり、長時間のYouTube等の視聴などが、子どもたちの健康被害やトラブルの原因にもなっています。

学校では、夏休み前に、「使いすぎ」「他の人を傷つけるようなことはしない」「個人情報を載せない」等、指導をしています。

また、ネット犯罪に巻き込まれないよう、ご家庭でも、「課金」や「時間を守る」等について話し合いをしていただき、ルールを決めて使用させていただきますようお願いします。



命を守る・ルールを守る 行動を

子どもたちには、夏休み前に、「命を守る」「ルールを守る」ことを話しています。
交通事故、川や海での事故にあわないよう、十分気をつけてほしいと思っています。
子どもだけで危ないところに行かないことや**交通ルール(自転車のヘルメット着用・一旦停止など)**や**危険な遊びをしない**などのルールを守ることが、楽しく夏休みを過ごすことにつながります。御家庭でも、御指導よろしくお願いします。

7月



16日(水), 17(木) ALT

18日(金) 前期前半終了(給食なし4時間)

7/19(土)~8/26(火) 夏休み

8月



12日(火)~15日(金)学校閉庁日

緊急の連絡は糸島市教育委員会

学校教育課 332-2097 へお願いします。

2日(土)PTA環境作業 8:00~9:00
(かき氷あり)

8/27(水)前期後半開始(給食なし4時間)

8/27(水)~9/5(金)集団登校

9月



8日(月) 自主登校開始(集団登校終了)

委員会活動④

16日(火), 17(水) ALT

20日(土)校区一斉パトロール 18:00~

(PTA 安全指導部担当 かき氷あり)

25日(木) 九大寺子屋(5年生)

※行事は変更になる場合があります。

赤ペンチャレンジ先生

7月10日(木)は、1年生～6年生まで、保護者の方へ丸付けの御協力をお願いしている「赤ペンチャレンジ先生」の取組をしました。お家の方が丸付けをしてくださることで、子どもたちも自分の頑張りを見てもらおうと大変意欲的に問題に挑むことができました。また、担任は個別指導の時間に充てることができ、大変助かっています。今回は、60名もの保護者の方が丸付けに来てくださいました。ありがとうございました。



保護者と学ぶ規範意識

6月28日(土)に、NPO法人子どもとメディアの三宅玲子先生をお招きして、ネットによる誹謗中傷・いじめ等防止について以下のようなお話をいただきました。

- 体を休める・成長する・おぼえたことを整理するために
⇒「ねむる」って大事だよ!
- 会話を楽しむ・食事を楽しむ・よくかむために
⇒「食べる」って大事だよ!
- おなかがすく・しっかり食べる・ぐっすりねむるために
⇒「遊ぶ」って大事だよ!

また、テレビやスマホ・ゲームの時間を家族でルール化していくことが重要であるということを話されました。



引き渡し訓練

6月28日(土)に、「引き渡し訓練」を行いました。

今回は、不審者が学校敷地内に入ってきた場面を設定し、その後も子どもだけで帰すのは危険性・不安が残るとの想定です。担任の引率で、おしゃべりをせずに下靴を取りに行き、手早く帰りの用意をして家の方のお迎えを待っていました。地域ごとの時間差による引き渡しについても、保護者の皆様の御協力のおかげで渋滞も大改善され、スムーズに引き渡しを行うことができました。御協力ありがとうございました。



5年生 田植え

地域の方やJA関係者の方等の支援をいただきながら、5年生は田植えをしました。右の写真のように、水田に素足で入り、横一直線に並んで、ぬかるむ足下をしっかりと支えながら、一つ一つ丁寧に田植えをしました。今後も、5年生は、総合的な学習の時間「加布里米を育てよう」を通して、米作りについて学習を進めていきます。これから夏にかけて、植えた苗がどのように育っていくのか、夏を過ぎるとどのように稲になっていくのかなど、自分から米作りに向き合って、よりよい学習を進めて欲しいと思います。



田植え作業にご支援いただいた皆様、ありがとうございました。